

田辺三菱製薬株式会社

2011年度 決算説明会

(2011年4月1日～2012年3月31日)

代表取締役社長

土屋 裕弘



田辺三菱製薬

2012年5月10日

於：ロイヤルパークホテル

(東京・水天宮前)

2011年度 決算概要

(平成24年3月期)

2011年度決算概況

	2011年度	2010年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,071	4,095	-23	-0.6	4,050	100.5
売上原価	1,522	1,545	-22	-1.5	1,500	101.5
売上原価率	37.4%	37.7%			37.0%	
売上総利益	2,548	2,549	-1	0.0	2,550	99.9
販管費	1,858	1,783	+74	+4.2	1,870	99.4
営業利益	690	765	-75	-9.8	680	101.5
経常利益	687	766	-79	-10.3	680	101.1
当期純利益	390	377	12	3.4	375	104.0

※公表見込:2011年7月29日の第1四半期決算発表時に公表した2011年度予想値

事業別売上高

【2011年度 決算概況】

New Value Creation



	2011年度	2010年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,071	4,095	-23	-0.6	4,050	100.5
(うち海外売上高)	(283)	(257)	(+25)	(+9.9)	(270)	(104.9)
医薬品事業	3,975	4,002	-26	-0.7	3,955	100.5
国内医療用医薬品	3,554	3,616	-62	-1.7	3,580	99.3
海外医療用医薬品	184	213	-28	-13.4	185	99.8
一般用医薬品	54	54	0	-0.6	50	108.0
医薬品その他	182	118	+64	+54.5	140	130.5
その他	95	93	+2	+3.1	95	101.0

医療用医薬品 主要製品売上高

【2011年度 決算概況】

New Value Creation



		2011年度	2010年度	増減		公表見込	達成率
		億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品		3,554	3,616	-62	-1.7	3,580	99.3
重点製品	レミケード	663	604	+59	+9.8	664	99.8
	ラジカット	224	287	-62	-21.6	237	94.8
	アンプラーグ	152	164	-11	-7.2	150	101.5
	メインテート	136	123	+13	+11.3	134	101.5
	タリオン	133	134	0	-0.6	145	91.8
	タナトリル	83	96	-13	-13.7	82	101.6
新規	クレメジン(注1)	116	-	+116	-	122	95.5
	ワクチン	288	296	-8	-2.8	295	97.3
	(ミールビック)	(95)	(122)	(-27)	(-22.3)	(100)	(95.3)
	(インフルエンザ)	(90)	(71)	(+18)	(+26.6)	(82)	(109.3)
	(ジェービックV)	(71)	(69)	(+1)	(+2.9)	(85)	(83.5)
	田辺製薬販売取扱品(注2)	174	140	+34	+24.4	173	100.9
	技術導出契約金等	95	24	+71	+293.0	60	159.9

注1: 2010年度は第一三共に販売委託していたが、同社への販売額は開示していない

注2: ジェネリック医薬品その他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む

売上原価・販管費

【2011年度 決算概況】

	2011年度	2010年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,071	4,095	-23	-0.6	4,050	100.5
売上原価	1,522	1,545	-22	-1.5	1,500	101.5
売上原価率	37.4%	37.7%			37.0%	
売上総利益	2,548	2,549	-1	0.0	2,550	99.9
販管費	1,858	1,783	+74	+4.2	1,870	99.4
研究開発費	702	657	+44	+6.8	690	101.8
人件費	519	525	-5	-1.1	515	100.9
のれん償却額	101	101	0	-0.2	100	101.3
その他	534	499	+35	+7.1	565	94.7
営業利益	690	765	-75	-9.8	680	101.5

営業外損益・特別損益

【2011年度 決算概況】

New Value Creation



	2011年度	2010年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	690	765	-75	-9.8	680	101.5
営業外損益	-2	1	-3			
経常利益	687	766	-79	-10.3	680	101.1
特別利益	11	6	5		-	
特別損失	61	132	-70		45	136.4
減損損失	33	8	+25			
投資有価証券評価損	21	80	-58			
その他	6	44	-37			
当期純利益	390	377	12	3.4	375	104.0

2012年度 業績予想

(平成25年3月期)

2012年度 業績予想

	2012年度 (予想)	2011年度 (実績)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,290	4,071	+218	+5.4
売上原価	1,650	1,522	+127	+8.4
売上原価率	38.5%	37.4%		
売上総利益	2,640	2,548	+91	+3.6
販管費	1,940	1,858	+81	+4.4
営業利益	700	690	+9	+1.4
経常利益	700	687	+12	+1.8
特別利益	—	11	-11	—
特別損失	40	61	-21	—
当期純利益	405	390	+14	+3.8

事業別売上高

【2012年度 業績予想】

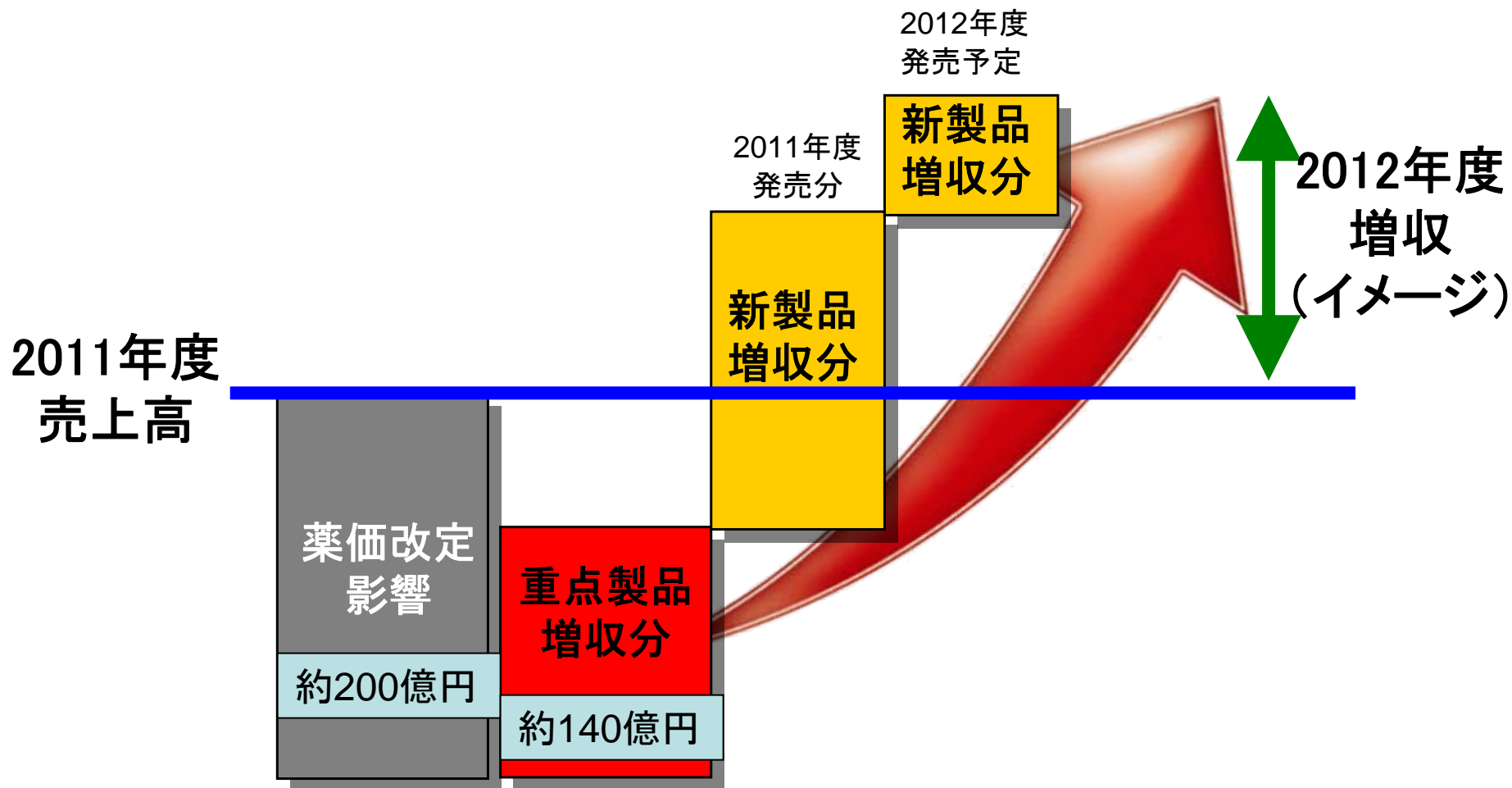
	2012年度 (予想)	2011年度 (実績)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,290	4,071	218	+5.4
(うち海外売上高)	(385)	(283)	(+101)	(+35.9)
医薬品事業	4,240	3,975	+264	+6.7
国内医療用医薬品	3,750	3,554	+195	+5.5
海外医療用医薬品	225	184	+40	+21.9
一般用医薬品	55	54	0	+1.8
医薬品その他	210	182	+27	+15.0
その他	50	95	-45	-47.9

医療用医薬品 主要製品売上高

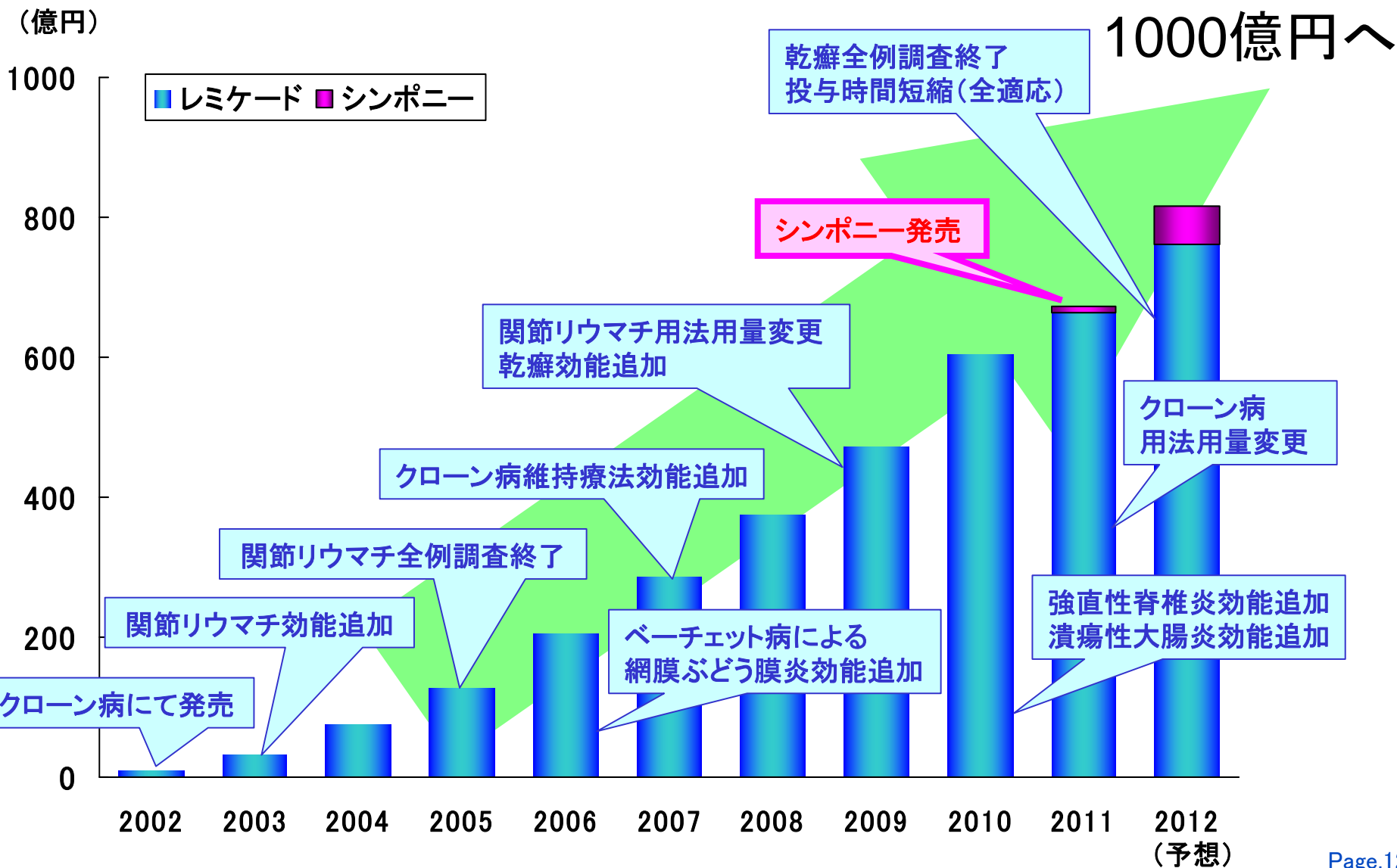
		2012年度 (予想)	2011年度 (実績)	増減	
		億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品		3,750	3,554	+195	+5.5
重点製品	レミケード	760	663	+96	+14.6
	タリオン	165	133	+31	+23.7
	メインテート	145	136	+8	+5.9
	クレメジン	125	116	+8	+7.3
新製品	テラビック	100	14	+85	+572.5
	レクサプロ	60	12	+47	+377.7
	シンポニー	55	9	+45	+477.1
ワクチン		280	288	-8	-2.8
(ミールビック)		(95)	(95)	(0)	(-0.5)
(インフルエンザ)		(90)	(90)	(0)	(-0.3)
(ジェービックV)		(65)	(71)	(-6)	(-9.0)
田辺製薬販売取扱品(注1)		180	174	+5	+2.9
技術導出契約金等		140	95	+44	+45.9

注1: ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む

国内医療用医薬品における 2012年度の成長ドライバー



レミケード&シンポニーの売上推移



■ MP-513 (DPP4阻害剤/2型糖尿病)

- ✓ 1日1回投与での高血糖改善効果を期待
- ✓ 腎機能の低下した患者さんでも使いやすい可能性
- ✓ 医薬品第一部会にて承認を了承(4月27日)
- ✓ 第一三共との戦略的な販売提携
 - 国内最大級の営業力による医療機関の相互訪問

■ BK-4SP (沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチン

- ／百日せき、ジフテリア、破傷風および急性灰白髄炎(ポリオ)の予防)
- ✓ 阪大微生物病研究会が承認申請*(2011年12月)
(不活化ポリオワクチンを含む4種混合ワクチンでは国内初の申請)
- ✓ 安全性の高さから不活化ポリオワクチンへの要望高

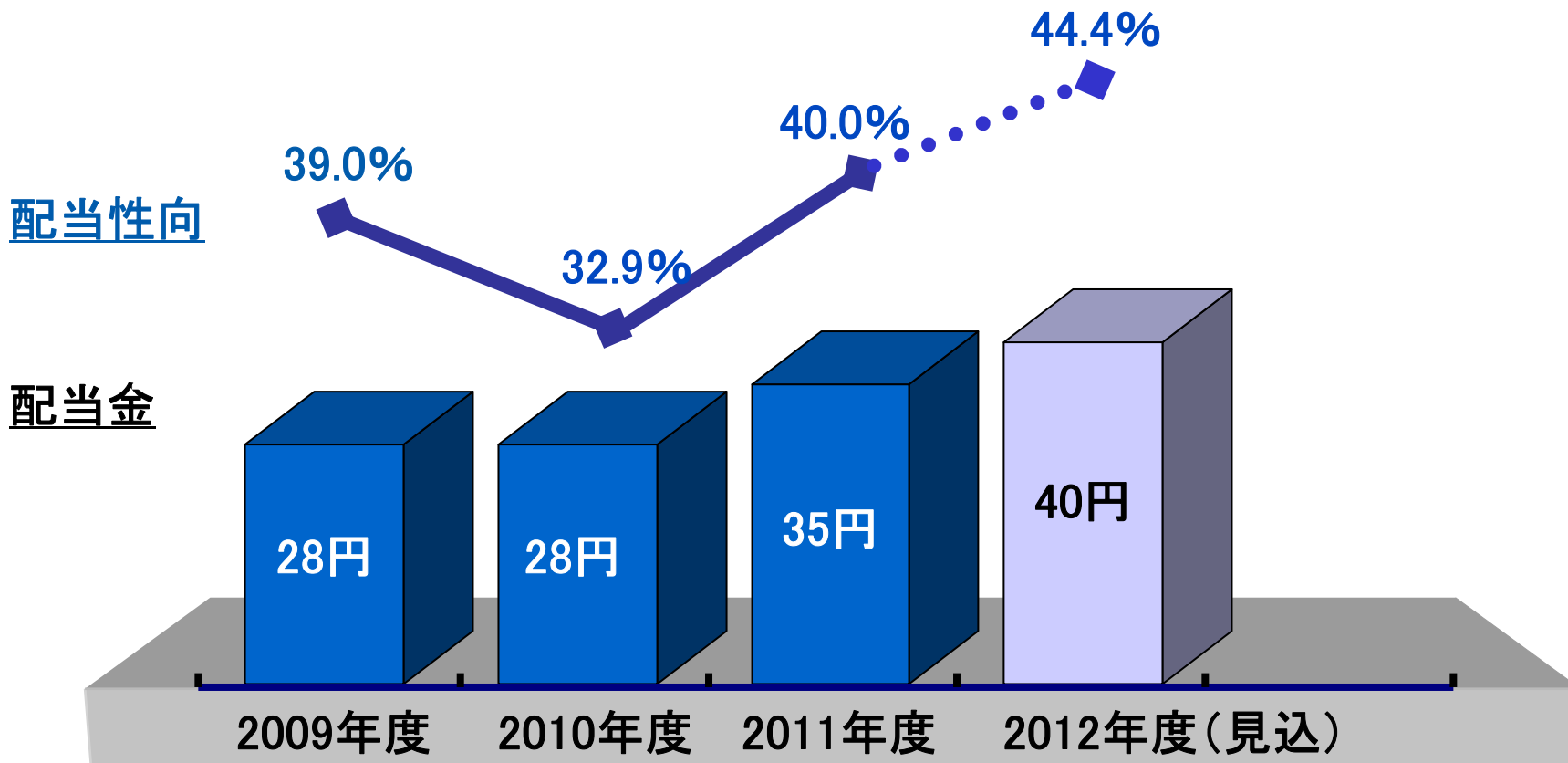
*当社は共同開発を実施

売上原価・販管費

	2012年度 (予想)	2011年度 (実績)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,290	4,071	+218	+5.4
売上原価	1,650	1,522	+127	+8.4
売上原価率	38.5%	37.4%		
売上総利益	2,640	2,548	+91	+3.6
販管費	1,940	1,858	+81	+4.4
研究開発費	720	702	+17	+2.5
人件費	520	519	0	+0.1
のれん償却額	100	101	-1	-1.3
その他	600	534	+65	+12.2
営業利益	700	690	+9	+1.4

株主還元

- 当社は、将来成長のための投資を積極的に行うことにより企業価値の増大を図るとともに、安定的、継続的に株主還元を充実させていくことを基本方針とする。
- 当中期経営計画では、利益成長に加え、のれん償却前の連結配当性向40%（のれん償却後の連結配当性向50%）を目処に引き上げ、株主還元を拡充する。



開発パイプラインの進捗状況

2011年度第3四半期決算発表時点(2012年1月31日)からの主な変更点

New Value Creation



海外導出

導出先: ヴィーヴァス

◆ TA-1790 (PDE5阻害剤)

勃起不全

欧州申請(2012年3月)

米国承認(2012年4月)

LCM

◆ レミケード(抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤)

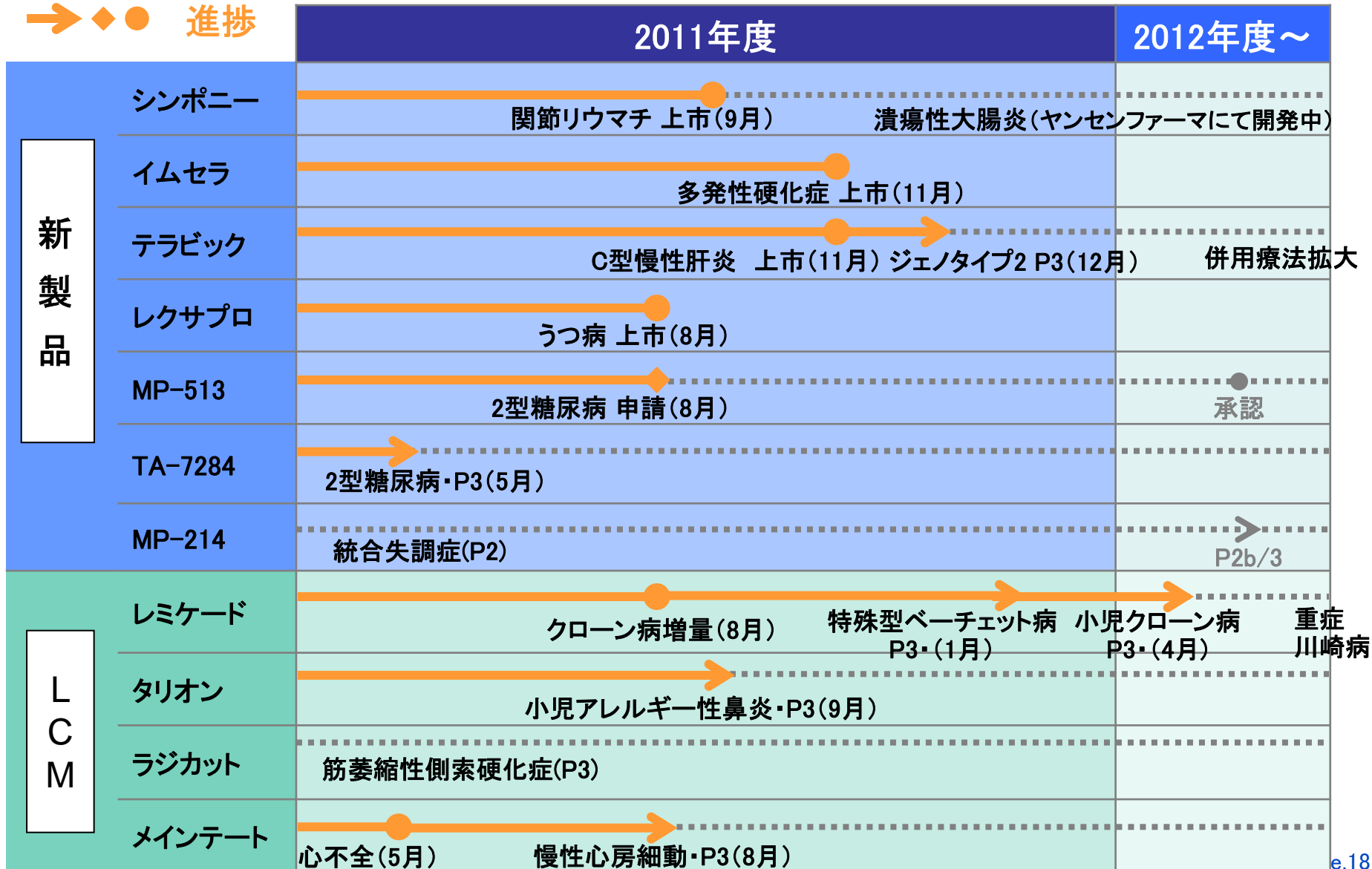
(効能追加) 特殊型ベーチェット病 国内フェーズ3試験(2012年1月)

(効能追加) 小児クローン病 国内フェーズ3試験(2012年4月)

中期経営計画に対する 2011年度事業活動の成果

新製品を軸とした国内事業の躍進

→ ◆ ● 進捗



■ 血漿分画事業に係わる新法人設立

- ✓ 日本赤十字社と当社連結子会社ベネシスの血漿分画事業統合に関する基本合意(2011年6月17日)
- ✓ 新法人「一般社団法人 日本血液製剤機構」を設立予定
- ✓ 事業開始(2012年10月1日)
- ✓ 事業統合で得られるスケール・メリットを生かしたコスト低減により、事業の健全性を確保し、血液製剤の国内自給達成をめざす

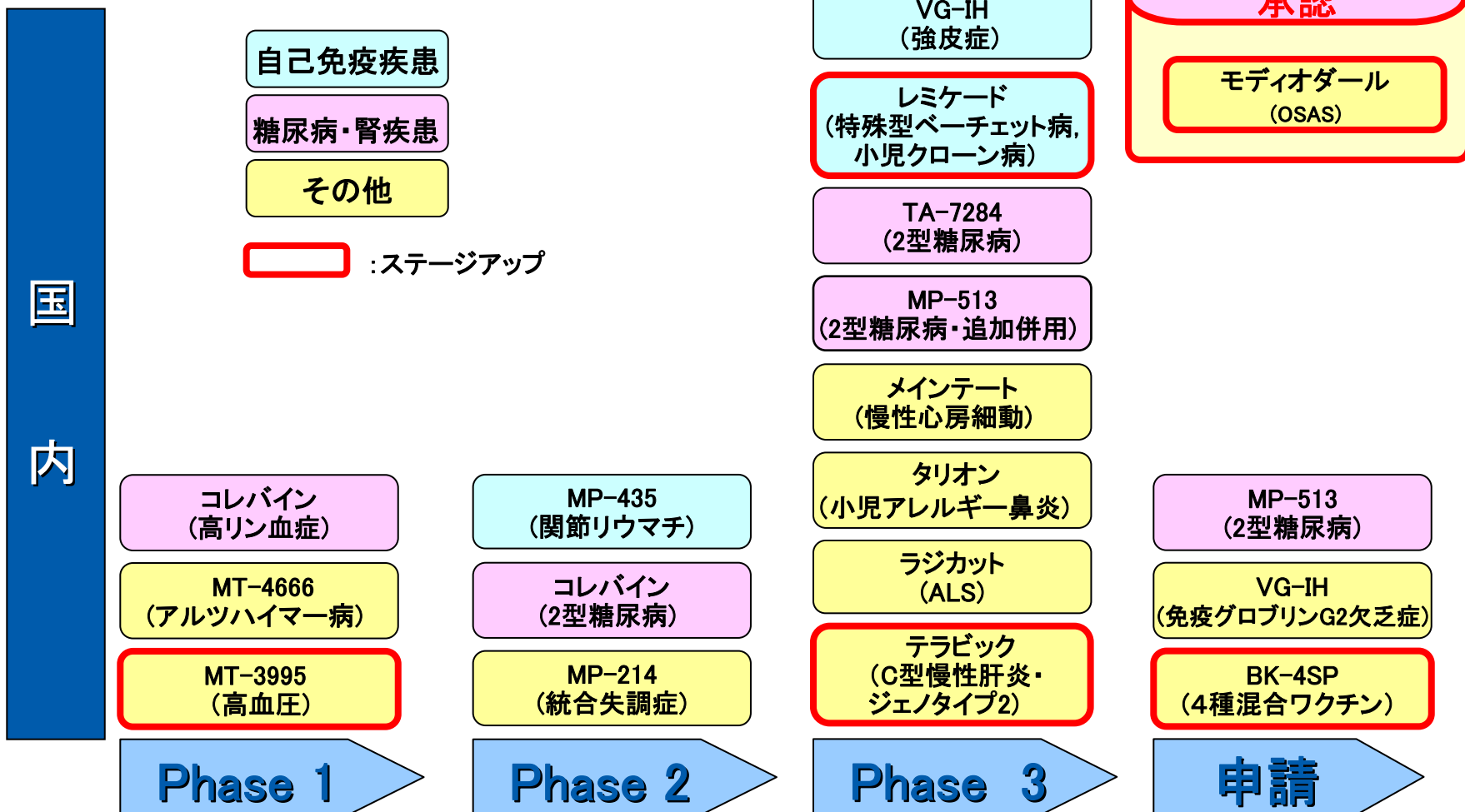
*New **Value** Creation*

「新たな価値を創造しつづける企業」へ

(参考) 国内パイプラインの進捗

2012年5月8日時点

2011年度第2四半期決算発表時点(2011年10月31日)からの変更点



(参考) 海外パイプラインの進捗

2012年5月8日時点

2011年度第2四半期決算発表時点(2011年10月31日)からの変更点

海外(自社開発)

MT-1303
(多発性硬化症)

MP-124
(脳梗塞)

TA-8995
(脂質異常症)

MT-3995
(高血圧)

MP-157
(高血圧)

MT-7716
(アルコール使用障害)

GB-1057
(安定化剤)

Phase 1

MP-513
(2型糖尿病)

MT-2832
(二次性副甲状腺機能亢進症)

Phase 2

T-0047
(多発性硬化症)

TA-7284
(肥満)

自己免疫疾患

糖尿病・腎疾患

その他

□ : ステージアップ

MP-146
(慢性腎臓病)

Phase 3

TA-7284
(2型糖尿病)

承認

リバロ(インドネシア)
(高コレステロール血症、
家族性高コレステロール血症)

TA-1790(米国)
(勃起不全)

MCI-196(欧州)
(高リン血症)

申請

TA-1790(欧州)
(勃起不全)

海外(主な導出品)

MP-136
(脂質異常症)

MCI-186
(脳梗塞)

中止

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。